

✠012 イエス・キリストは何者(どういう人)か

「聖書は、イエスは神であり人である」と教えている。

なぜなら、「神」でなければ私たちを救えないし、「人」でなければ死ぬことができないからです。

✠「この福音は、神が既に聖書の中で預言者を通して約束されたもので、御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ(→人の子)、聖なる霊によれば、死者の中からの復活によって力ある神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエス・キリストです。」(ローマ 1:2~4)

✠イエスは言われた。「はっきりしておく。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある。(I am!)』すると、ユダヤ人たちは、石を取り上げ、イエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、神殿の境内から出て行かれた。(ヨハネ 8:58~59)

✠神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ(I AM WHO I AM)」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある(I AM)』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」(出エジプト 3:14)

⇒ここでイエスは、「わたしはいるのです(I am!)」と現在形で語っています。これはイエスの神性宣言です。イエスは「自分は神だ」と宣言し、ユダヤ人たちは「イエスは自分が神だと主張した」と理解したことです。

更に、イエスはこう言われました。

✠「わたしと父とは一つである。(“I and the Father are one.”)」(ヨハネ 10:30)

⇒ヨハネ 8:58 と、10:30 は、ともに、イエスをご自分のことを「神」と宣言されています。

「神である方が人となられたのが、イエスである」ということです。

イエス・キリストが「私たちの罪」の問題を解決する「救い主」として十字架の上で死ぬためには、この「神であり、人である」という条件が必要だったのです。

つまり、「イエスが神であり、人である」というのは、十字架上の死が「贖罪死(イエスは自らの命を贖いの代価として支払い、そのために神は人類を赦した)」として有効であるための条件なのです。

人でなければ、死ぬことはできず、神でなければ、罪の代価を支払うことはできなかったのです。

✠「キリスト・イエスは、罪人(sinners: 宗教・道徳上の罪人達、罪深い人達)を救うために世に来られた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。わたしは、その罪人の中で最たる者です(I am the worst.)。(I テモテ 1:15) 参考: criminal(犯罪者)

✠「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」(ヨハネ 14:6)

“I am the way and the truth and the life. No one comes to the Father except through me.”

⇒イエス・キリストの使命は、人類をサタンと罪の支配から解放し、義の国をもたらす救い主です。

★なぜイエス・キリストが十字架に架かって死ななければならなかったのでしょうか。

それは、私たちが死後のさばきから救うためであったのです。
人間は造り主である神に逆らい、自分の欲望に仕え、多くの罪を犯して生きています。
神は義なる方であり、必ずその罪をさばかれる御方なのです。
イエス・キリストは、罪人である私たちを救うために、私たちのすべての罪を背負い、私たちの身代わりとなって十字架の上で罪のさばきを受けて死んでくださったのです。
そして、イエス・キリストを「神の子キリスト」であり、救い主として信じる者に、罪の赦しと永遠の命を与え、天に入る者としてくださったのです。

★イエスが神でなければいけない理由は・・・

それは、もし、彼が神でなければ、イエスの死は、全世界の罪を背負うのに十分ではなかったこととなります（Ⅰヨハネ2：2）。
神様だけが、そのような無限の罰を背負うことができるからです（ローマ5：8、Ⅱコリ5：21）。
イエスは、私たちの罪を背負うために神でなければいけなかったのです。同時に、イエスは、死ぬために、人間でなければいけなかったのです。

★**キリストの愛**

キリストは、人間となられて、私たちの罪を負い、そして、神として私たちに救ってくださった。

「そして、(キリストは)十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。」（Ⅰペテロの手紙2：24）

キリストは、私たちが罪のゆえに滅びに向かっていることを知っておられたので、自ら私たちのために犠牲となり、私たちの身代わりとして、十字架上で死んでくださった。
このキリストの十字架にこそ、神の愛が豊かにあらわされている。
キリストの死は人々を救い、神からの自由を得させる（マコ10：45）。それゆえ、イエスは、死の力から人々を救い、自由にする（ロマ4：25、5：10）。

キリストの「愛」は、隣人に最善を行なうことである。
聖書において、神が求めるのは、他者を助け、敵にさえも援助の手を差し延べる愛である。これこそが、キリストを通して神が行ったこと、そして、神の民がこの世で行うべきことである。

キリストは、ご自身の愛を人々に注ぎ出され、ついにはご自分の命までも、注ぎ出され、私たちに救ってくださったのです。